

◆登園に際して医師の診断を受け、保護者が記入する【登園届】の提出が必要な感染症

病名	潜伏期間	感染経路	症状	感染しやすい時期	登園のめやす
溶連菌感染症	2～5日	飛沫 接触 経口	発熱、のどの痛み 舌が莓状に赤く腫れる 全身の赤い発疹	適切な抗菌薬治療開始後1日間	抗菌薬の内服後 24～48時間経過している
マイコプラズマ感染症	2～3週間	飛沫 接触 経口	しつこい咳、発熱、頭痛など 肺炎を引き起こす場合もある	適切な抗菌薬治療開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロ タウイルス・アデノ ウイルスなど)	12時間～ 3日くら い	飛沫 接触 経口	嘔吐、下痢、腹痛、発熱など	症状のある間～ 症状が消えて1週間ほど (数週間はウイルスを排出し ているため注意が必要)	下痢や嘔吐など症状が治まり、 普段の食事がとれること ※24時間、下痢や嘔吐がないこと を確認してから登園するようお願い します。
りんご病 (伝染性紅斑)	4～14日	飛沫	頬がリンゴのように赤くなる、 太ももや腕に赤い斑点や網目模様 の発疹 (感染後5～10日発熱や頭痛など)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと (発疹のみの場合は登園可能)
手足口病	3～6日	飛沫 接触 経口	口の中、手足の末端、 おしりなどに水疱(水ぶくれ) 発熱	水疱(水ぶくれ)が出現した数日間	発熱や口腔内の水疱や潰瘍の 影響がなく、通常の食事が とれること
ヘルパンギーナ	3～6日	飛沫 接触 経口	発熱、のどの痛み のどの奥に水疱(水ぶくれ)	急性期の数日間 (1か月程度、便の中にウイルス を排出しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱や潰瘍の 影響がなく、通常の食事が とれること
RSウイルス感染症	4～6日	飛沫 接触	発熱、咳、鼻水 ゼイゼイ音のする呼吸など	呼吸器症状がある間	呼吸器症状が消え、 全身状態が良いこと